

キャラクター名  
高橋 洋翔

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	17	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	嫌悪	初期侵食率	32	%
出自	義理の両親	経験	平凡への反発	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	2	1	2			5	行動値	9
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	9
精神	0	0	1			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	3		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウエポン	白兵	5r+4	3	Lv+7		Lv1
ダブルクリエイト[Lv3]	白兵	5r+4	3	Lv+7		↑と合わせて2つ目の武器。G値が攻撃力に+LV。
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レザージャケット	4	2	0	0	

所持品	
制服	
携帯電話	
腕時計	
カジュアルな服	

合計装甲: 2    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
高橋桜海 (義理の父)	P 慕情	N 偏愛		
高橋美代 (義妹)	P 傾倒	N 劣等感		
敷島あやめ	P 執着	N 嫌悪		
写蝸院武瑠	P 連帯感	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	自身	-	-	
効果: 組み合わせた判定のC値を-Lvする (下限値7)								
インフィニティウエポン	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 白兵/<白兵>/0/[LV+7]/3/至近の武器を製作する								
ダブルクリエイト	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 特定の技能と組み合わせ使用可。武器の作成数をふたつにし、攻撃力/ガード値を+LVする。								
物質合成	1	5	メジャー	至近	自身	自動	100↑	
効果: 技能が同じ武器/防具を破壊し、ステを合算した1つのアイテムを装備する。射程は短い方となる。1シーンに1回。								
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 対象の装甲値を無視してダメージを算出できる。ただし、ダイス-1個								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

高橋洋翔 (旧姓: 田代)。  
 田代家の長男に生まれた彼だが、過去の事件 (ジャームの暴走) により両親を失う。その時、両親を失った怒りと悲しみによりオーヴァードとして覚醒した。彼はその場に居たUGNメンバーに拾われ、そのままUGN研究員の高橋桜海の家で育てられることになる。父子家庭で妹があり、彼は母親側の不倫により離婚している。  
 洋翔は覚醒当初、復讐のために動いていたが、オーヴァードの力を理解すると共に彼の心には普通の人間からの脱却、過去の自分への優越感を覚えるようになり、「自分は強い」と思い込み、そういった者を見下すようになっていった。  
 義妹の高橋美代は優等生で、自分と同じく平凡からは一線を画する存在であり、その点は評価し、自分の持てる好意を向けているのだが、それとはまた別に元の自分が平凡であり優等生の彼女に劣等感を抱いている。なお、彼女からは鬱陶しい世話焼きの兄と思われている。  
 敷島あやめは同級生で、オーヴァードになる以前に彼女が好きであったのだが、今の自分からしてみると自身が見下す人間に世話を焼く彼女が嫌いだ、好意は残っているので変な執着心だけが心に残っている。  
 なお、過去にいた友達は性格の変化により全員いなくなり、ぼっちでいるところを敷島あやめに捉えられた。